

# SAP S/4HANAをクラウドに移行するベネフィット

## クラウドテクノロジーの活用による競争力の維持

SAPの顧客は、今後12か月の間に、デプロイメントの50%をSAP認定プロバイダー向けのCloud IaaSに移行する予定である。

### 純利益の向上

進化するビジネス要件に対応する**アジリティ**

顧客をひきつけ、定着させるためのサービスと製品の**タイムリーな提供**

インサイトと予測分析の向上による**顧客エクスペリエンスの改善**



**企業ニーズ**

- 常に進化している要件を満たすビジネスおよび技術的な選択肢
- 変化する環境や市場の要求に迅速に対応するためのアジリティと能力を向上させるソリューション

SAP S/4HANAのクラウド移行によって得られる企業のベネフィットを以下に示す。

- ほぼリアルタイムなインサイトと予測分析を提供する新しいデータモデルとビジネスプロセスによって、オペレーションの方法を改善する。
- 従来のデータと顧客の意見を組み合わせることで、ビジネスを全方位的に把握し、市場のニーズを予測する。
- サービスや製品をより早く提供し、新規顧客をひきつけ、既存顧客の満足度を維持し続け、顧客が競合他社に流れるのを防止する。
- 最新のデータソースの活用を開始し、IoTデバイス、AI (Artificial Intelligence: 人工知能)、ML (Machine Learning: 機械学習)、ブロックチェーンからのオペレーショナルデータと組み合わせる。

## IBM Cloud が SAP S/4HANA の強固な基盤に

SAP S/4HANA を IBM Cloud に移行した企業が得たベネフィット:

- インフラストラクチャの性能向上
- セキュリティとスケーラビリティの向上
- SAPランドスケープのさまざまな部分の統合の改善
- 分析能力の向上

**重要な検討事項**

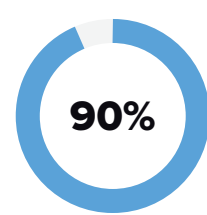
オペレーションの中断を最小限に抑えるためには、論理的かつ柔軟な移行アプローチを可能にする適応性のあるタイムテーブルを採用すべきである。

Source: IDC Surveys

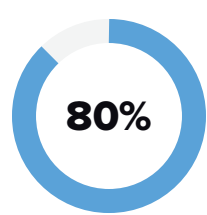
## SAP S/4HANAのクラウドでの運用による純利益の向上

既存のビジネスプロセスを変革し、テクノロジーに投資することで、生産性の向上、収益の増加、コストの削減が実現する。

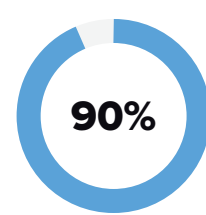
SAP S/4HANAをIBM Cloudに移行した企業が得たさまざまな成果



収益増を達成



コスト削減を実現



生産性を向上

Source: IDC Surveys

## SAP S/4HANAのクラウド移行には、ステークホルダーの自信と信頼を確実なものにする信頼できるアドバイザーが必要

企業は、リスクや、評判の低下、コンプライアンス違反の回避に役立つ、ハードウェア、ソフトウェア、クラウドに対する包括的な統合セキュリティアプローチを備えたクラウドサービスを検討すべきである。

**IBM Cloudに対するIDCの見解:**

- 継続的なイノベーションを実現するためのクラウドネイティブなビジョンを提示している。
- 実績のあるベストプラクティスと方法論を提供している。
- アプリケーションの高い可用性とレジリエンスを実現し、処理の中断やオペレーション上の問題を最小限に抑えることができる。
- 重要なSAP移行ツールを備えている。
- 今日のビジネス上およびオペレーション上の課題に対処するためのグローバルな専門知識と経験を入手する機会を提供している。

**グローバルな専門知識と経験に裏付けされるもの:**

- ベストプラクティスと方法論
- 処理の中断やオペレーション上の問題を最小限に抑えるアプリケーションの高い可用性とレジリエンス
- SAP移行ツールへのアクセス
- 手頃で柔軟な移行アプローチ

## ビジネスに影響を与えるコスト増につながる遅延を回避

NetWeaverに対するSAPのサポート期限が2027年に迫っている。企業には、データベースをSAP HANAに、主要なビジネスアプリケーションをSAP S/4HANAに移行するかどうかを決定するハードウェア更新サイクルが、1回しか残されていない。



SAPワークロードの平均的なハードウェア更新サイクルは4.5年であるため、2021年にSAPワークロードの新しいハードウェア更新サイクルを開始する企業は、2025年か2026年に次の更新を迎えることになるIDCは推定している。

今こそ、SAP S/4HANAへの移行の一環として、クラウドアプローチを決定すべき時である。